

# 越前市議会だより

第68号

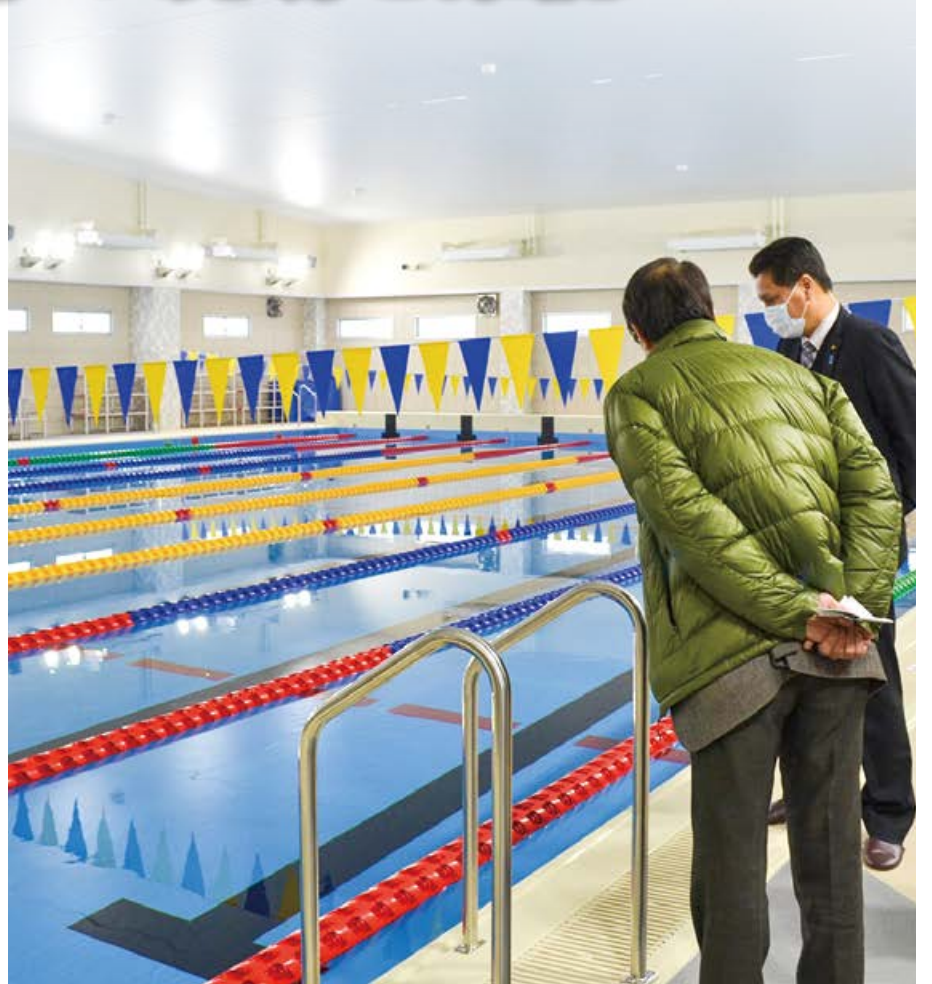
令和4年(2022年)5月13日(金)  
発行 編集 越前市議会  
〒915-8530  
福井県越前市府中一丁目13番7号  
TEL:0778-22-3426  
FAX:0778-23-3000  
https://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html



## 武生中央公園温水プールと南中山公民館・児童館の耐震補強等工事の現場を確認



武生中央公園温水プール(複合施設)2階「あそびマーレ」



武生中央公園温水プール



南中山公民館

教育厚生委員会は、3月6日にオープンした武生中央公園温水プール(複合施設)と、南中山公民館・児童館耐震補強等工事の現場確認を行いました。

武生中央公園温水プールは、有限会社加古総合研究所の監修のもと、かこさとし氏の作品を参考に整備を行い、小学校の水泳授業にも使用される予定です。

また、2階には屋内遊戯場「あそびマーレ」が設置されています。あそびマーレは、エア―遊具等を備えた有料の遊戯場で、幼児から小学生まで幅広い年齢の子どもが楽しむことができます。

南中山公民館・児童館は、市教育施設等長寿命化方針に基づいて耐震化を行った初めての地区公民館です。耐震補強等工事に合わせ、長寿命化、バリアフリー化の工事も行われ、より利用しやすいように改修が行われました。

今後は両施設とも、多くの市民に愛され、多様な市民の交流・憩いの場として利用されることが大いに期待されます。

### 本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議
- 3面 ◆ 議案の議決結果
- 4～5面 ◆ 一般質問
- 6～7面 ◆ 委員長報告等
- 8面 ◆ 議会活性化の取り組みを振り返って

### 3月定例会の概要

令和4年3月越前市議会定例会は、2月18日から3月18日までの29日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和4年度一般会計予算案など予算案14件、越前市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定など条例案5件、道の駅「越前たけふ」の指定管理者の指定についての一般議案1件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、本会議最終日に、原案どおり可決されました。

このほか、ロシア連邦によるウクライナ侵攻を強く非難する決議を決定し、シルバ―人材センターに対する支援を求める意見書など意見書案2件を可決しました。

また、副市長、固定資産評価員、監査委員および人権擁護委員に関する人事案5件に同意しました。

# 令和4年度 当初予算決まる

## 総額 631億1,136万1千円 (前年度比4.1%増)

一般会計	367億4,700万円 (前年度比5.4%増)
特別会計	171億4,244万3千円 (前年度比0.6%減)
企業会計	92億2,191万8千円 (前年度比8.4%増)

# 3月定例会 議案審議



その他の審議については、6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

### 一般議案審議

#### 指定管理者の指定

道の駅「越前たけふ」の指定管理者の指定について

**問** 審査結果で評価に差が出たポイントは何か。

**答** 「施設の効用を最大限に発揮するもの」という項目の中で、高い評価を得たことが大きく、テナントとして参加する地元企業と連携した地域に根ざした運営を行うことや、伝統産業の各産地と連携した観光誘客促進の取り組みを行うなど、道の駅の管理についてにきわぬ創出と地域振興を視点とした提案内容が大きな評価につながったと考える。

あわせて、すでに物販飲食の運営に選定されていることから、道の駅全体の一体的な管理と効率的な運営体制の確立が望まれること、物販飲食と連携した人員配置、建物管理の専門企業による管理体制等についての提案があり、これらの点が高く評価されたと考えている。

**問** 観光情報および地域情報の発信はどのように行うのか。

**答** 地元企業の製品の展示、販売や丹南地域の産業イベントと連携した各産地への送客、市3大グルメを初めとした飲食の提供などの取り組みを市観光協会と連携して実施することで、観光誘客につなげていく。また、これらの情報をホームページやテレビコマーシャル、各種SNS等を活用して情報発信していきたいと考えている。

### 条例審議

#### 副市長の定数を1名から2名以内に

越前市副市長定数条例の改正について

**問** 2名以内に改正する意図は何か。

**答** 北陸新幹線敦賀開業まであと2年という重要な時期を迎えており、新駅周辺の土地利用開発、企業誘致、二次交通体系の整備等を迅速かつ着実に推進するため、特に

対外的な渉外業務や折衝業務の体制強化を図ることを目的に、副市長の定数を2名以内に改正するものである。

### 令和4年度一般会計当初予算審議

#### アフターコロナに向けたリニューアル

しきぶ温泉湯楽里利用者回復事業  
業務委託料

2450万円

**問** リニューアルの内容は。

**答** 露天風呂を大型化し、デッキを創設して解放感のある外気浴を行えるようにする。サウナも老朽化が進んでいることから新たに木の香りがするサウナにリニューアルし、1階レストランのトイレも洋式化する予定である。また、利用者に向けての情報発信を強化していくための経費も計上している。

**問** リニューアルの目的は経済対策でもあつたことだが、福祉施設である湯楽里で経済対策とはどういふことか。

**答** 湯楽里は福祉施設だが、同時に年間20万人が利用する集客施設でもある。物資の調達などによってもたらされる地元経済への波及効果が見込まれることから、経済対策としての位置付けもあると考えた。

**問** 今回のリニューアルは、指定管理者が行う設備の改修には含まれないのか。市が行う理由は何か。

**答** 指定管理者の契約書において、施設の効用を増加させるための改修は市の負担、施設を効率的に運用するための改修については、指定管理者の負担と定めている。今回は指定管理期間が終了してから市有財産の価値を高めるための改修と考えているので、市の負担となっている。



しきぶ温泉「湯楽里」浴室(現在)

### 市のブランド化の推進と情報発信

#### 地域ブランディング事業

776万5千円

**問** 具体的な事業内容は。

**答** 市の魅力度、認知度を向上させること、市内外からの評価を高め、越前市を地域ブランドとして確立させることを目的とした事業である。

具体的には、市の魅力を外部に発信するためのコンテンツの充実、発信力の強化、新たな概念であるメタバースを活用した情報発信、市のCM動画の制作等である。

**問** これまでも、工芸の里構想や観光推進事業において市の魅力発信を行ってきたが、違いは何か。

**答** 工芸の里推進事業では、和紙、打刃物、指物等伝統産業を軸に、観光推進事業では、産業観光を軸に本市の魅力発信に努めてきたが、認知度はまだ低いと考えている。まずは越前市を知ってもらい、興味を持ってもらうことが重要であると考え、今回の事業を計画した。

**問** 委託先はどこを想定しているのか。

**答** コンテンツやCMの制作は地元を知っている地元メディアを、メタバースは県内外の大学の研究室や、企業、市民団体等を想定している。

### 新幹線開業後に向けて

#### 越前たけふ駅周辺整備推進事業

5249万円

**問** 事業内容と委託先は。

**答** 事業内容は、第1に測量や、パイプライン、排水経路、地権者の意向調査など、土地の現況調査。第2に進出を検討する複数の企業のスペックやスケジュール、および必要な環境等の企業情報の作成。第3に立地想定エリアの街区割りなどの検討業務である。

委託先としては、戸田建設株式会社を想定している。同社が先端企業誘致に取り組んでいること、それ以外の施設などについても、事業実施計画書の作成委託などでスピーディーかつ効率的であると考えられることが理由である。



寺町通り

### ウォーカーブルなまちづくり

#### 商業活性化支援事業

878万円

#### 中心市街地活性化事業

5038万6千円

**問** ウォーカーブルなまちづくりとは。

**答** 令和3年度に中心市街地活性化プランの改定を行い、プランの大きな柱としてウォーカーブルなまちづくりを位置付けている。中心市街地には地域の宝、神社仏閣が多くあり、磨き上げを行う中でにぎわいを創出していききたいと考えており、そのためのキーワードとして、ウォーカーブルなまちづくりを掲げたいと考えている。

**問** ウォーカーブル、歩きたくなるまちづくりというイメージアップのための誘客促進の方法は考えているのか。

**答** 市とまちづくり武生株式会社が連携して、まちなかスポットへの誘客促進、SNSを活用したフォトコンテストなどの情報発信により、まちなかの回遊性の向上、市の魅力のPRに力を入れていきたいと考えている。

**問** 無料休憩所を設置するなどして、高齢者から子どもまで幅広く歩いて楽しめるような仕組みを作りたい。

**答** 地域が活性化するためには、多くの人に来てもらう必要がある。そのための仕組みが必要である。いただいたご提案やご意見をとり入れながら、本事業を実施していきたい。

### 議案の議決結果

令和4年3月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第2号	令和3年度越前市一般会計補正予算(第9号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
議案第3号	令和3年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	教育厚生	可決(全員)
議案第4号	令和3年度越前市介護保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第5号	令和3年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第6号	令和3年度越前市水道事業会計補正予算(第3号)	産業建設	可決(全員)
議案第7号	令和3年度越前市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第8号	令和3年度越前市下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第9号	令和4年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決(多数)
議案第10号	令和4年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第11号	令和4年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第12号	令和4年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第13号	令和4年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第14号	令和4年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第15号	令和4年度越前市下水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第16号	越前市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	総務	可決(全員)

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第17号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第18号	越前市国民健康保険税条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第19号	越前市公民館使用条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第20号	道の駅「越前たけふ」の指定管理者の指定について	産業建設	可決(全員)
議案第21号	越前市副市長定数条例の一部改正について		可決(全員)
議案第22号	副市長の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第23号	副市長の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第24号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第25号	監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第26号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
決議案第1号	ロシア連邦によるウクライナ侵攻を強く非難する決議について		決議決定(全員)
意見書案第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	産業建設	可決(全員)
意見書案第2号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出について	議会運営委員会	可決(多数)
請願第1号	日本政府に「核兵器禁止条約」への署名と批准を求める意見書の提出に関する請願	議会運営委員会	みなし採択

### 賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○ 反対：× 欠席：欠)

議案	賛 否																					
	会派 創至					市民ネットワーク				誠和会(自民)			共産		政新会		末馬会		諸		諸	
	吉村美幸	中西昭雄	清水一徳	題佛臣一	小形善信	砂田竜一	小玉俊一	吉田啓三	三田村輝士	大久保健一	川崎俊之	前田一博	片粕正二郎	加藤吉則	前田修治	安立里美	川崎悟司	近藤光広	橋本弥登志	桶谷耕一	大久保恵子	城戸茂夫
令和4年度越前市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×

(注) 議長は採決には加わっていません。 共産：日本共産党議員団 諸：諸派

**ロシア連邦によるウクライナ侵攻を強く非難する決議を決定**

本年2月24日にロシア連邦がウクライナに対し軍事侵攻を開始したことは、独立国家の主権および領土に対する侵害であり、国連憲章、国際法に対する明確な違反行為です。また、病院や学校を爆撃し、子どもや高齢者を含む一般市民の生命を奪い去る蛮行には強い怒りを覚えます。さらには核兵器の使用を示唆して恫喝することにも、原子力発電所を武力攻撃したことは、人類を核汚染の危機に晒す暴挙であり、平成17年12月に全ての核兵器の廃絶と世界の恒久平和を実現するための非核平和都市を宣言した本議会の精神とは相容れないものです。

よって本議会は、ロシア連邦の暴挙を強く非難し、即時の攻撃停止と無条件の完全撤退を求めるとともに、国においては国際社会と緊密に連携し、毅然とした態度でロシア連邦に対峙しつつ、平和的解決への道を探ることを強く求める決議案を3月18日の本会議において全会一致で決議決定しました。

決議に続き、ウクライナ人道支援のために、日本赤十字社を通じて議員一人あたり1万円の寄付を行いました。

**3月定例会で採決された人事**

**副市長の選任に同意**

小泉陽一氏(村国一丁目)  
龍田光幸氏(坂井市春江町)

**固定資産評価員の選任に同意**

小泉陽一氏(村国一丁目)

**監査委員の選任に同意**

田中英夫氏(堀川二丁目)

**人権擁護委員の候補者の推薦に同意**

川上耕一氏(高木町)

3月定例会 一般質問

3月定例会では、16人の議員が2月28日、3月1日、2日、3日の4日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは6月に掲載予定の市議会ホームページ会議録検索システムをご覧ください。

子育て

子ども子育て支援の充実を進めよ

問 保護者が希望する保育園等への入園や、兄弟が同じ保育園等に入園できるように解決せよ。

答 保護者が希望する保育園等で受け入れるためには、低年齢児保育ニーズへの対応が必要となる。各施設の年齢ごとの受入定員の見直しや、低年齢児の受入定員増にかかる施設整備・支援が必要な子どもへの対応ができるよう、保育士の確保に全力で取り組む。

他の質問項目
・市中心市街地活性化プランの推進について
・本市における協同労働の推進について



諸派 桶谷 耕一

福祉

重層的支援体制と生涯スポーツ振興について

問 新規政策に福祉サービスの体制強化として「重層的支援体制整備」を掲げたが、何が新しいのか。また、フレイル予防として生涯スポーツの推進をどう考えるか。

答 来年度、障がい者の相談体制を整備し、高齢者・子ども・障がい者等の分野を超えた新たな福祉の体制を構築する。また、ニュースポーツの振興を通して運動・スポーツの習慣化による健康増進を図っていく。

他の質問項目
・森林環境譲与税事業と脱炭素社会実現事業について



会派 創至 中西 昭雄

障がい児者への支援を拡充せよ

問 重度の障がい児者が、障がいのない方と同様に気軽に入浴できる機会を増やすために、入浴設備を整備している事業所に対して、経費の加算ができないか。

答 入浴サービスに係る経費の加算については、利用者とサービス提供事業所の実態を把握したうえで、必要性を見極めて検討する。入浴サービスの回数増加については、市福祉サービス関連協議体において協議していきたい。

他の質問項目
・障がい児者の福祉サービスの充実について
・ヤングケアラーへの支援について



市民ネットワーク 三田村 輝士

食の視点から市民福祉政策を拡充せよ

問 一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、食事は作るものから買うものに変わってきている。食生活改善は、福祉における重大な課題と考えるが、市の考えは。

答 健康長寿の延伸を図るため、食に関する取り組みは重要という認識を保持している。次年度には、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のため、庁内体制を強化することから、今後、食に対する取り組みも強化していきたい。

他の質問項目
・自治振興会の抱える課題について



諸派 城戸 茂夫

教育

温水プールでの小学校水泳事業を全小学校対象にせよ

問 武生中央公園温水プールでの小学校水泳事業が6校に限定された。対象児童はインストラクターの指導を受けるが、残りの児童は自校のプールで教員の指導のみであり、この格差をどのように考えるか。

答 インストラクターの指導により、水に慣れることや、泳法の習得等について向上が図られるが、教員による授業では、心情面での安定を図りながら、確かな学びにつなげることができる。水泳授業の狙いを達成するため、今後も授業の工夫改善を図っていく。

他の質問項目
・市総合計画改定への住民の意見反映の手段は
・在宅介護者への紙おむつ支給を拡充すべき



政新会 安立 里美

LGBT

LGBT「パートナーシップ制度」を導入せよ

問 「自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を発行する制度」は令和4年2月現在で既に全国4割強の自治体で導入している。本市での早期導入を提言する。

答 昨年実施した市男女共同参画プラン改定に係る市民調査で、「性的少数者にとって生活しづらい社会である」と感じ、「パートナーシップ制度の導入」が必要との回答が約3割あった。今後、先進事例を参考にしながら研究を行っていく。

他の質問項目
・聴覚障がい者の普通学級受入の配慮について
・子ども条例の周知と名称および内容の再検討を



諸派 大久保 恵子

コロナ対策

コロナ感染症による多くの課題に対する市の対応策は

問 三回目のワクチン確保や市民への状況説明はできているのか。国は自宅療養の方針を示しているが、市には医療機関との連携による病床の確保など、重症化を防ぐ医療提供を求める。

答 対象者全てのワクチンが届く予定である。市民からの電話受付体制は職員の増加などで強化した。医療体制は県と県医師会で整備されており、病床数は441床、宿泊療養施設575床が確保されている。

他の質問項目
・「子育て・教育環境日本一」を目指す市長の考え方について
・ジェンダー平等社会の実現に向けての市の取り組みについて



日本共産党議員団 前田 修治

県保健所への支援・協力を

問 コロナ感染拡大の中で、県保健所は感染者対応などで逼迫した状況にある。市としての支援・協力は。

答 市と県は新型コロナウイルス感染症対策に連携して取り組むため、令和2年度以降「職員の併任に関する協定」を締結し、県からの人員協力要請があった場合は、県丹南健康福祉センターへ市保健師1名を週1回派遣してきた。今年に入り派遣を週2回に増やし、住民からの相談対応、健康観察などの電話対応業務を支援している。



政新会 川崎 悟司

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために行う質問のことをいいます。

# 総合計画

# 北陸新幹線

## 「かがやき」停車を要望せよ

**問** 北陸新幹線のダイヤはいつ頃決まるのか。大阪延伸までは終着駅となる敦賀駅の一つ手前が越前たけふ駅となることから、現在の武生駅や鯖江駅の特急乗降数を見込み、「かがやき」停車を要望すべきではないか。

**答** 北陸新幹線金沢敦賀間のダイヤ公表は、過去の例からみて開業3か月前頃と考えている。「かがやき」の停車は厳しい状況かと考えるが、越前たけふ駅の利用促進を図り、停車本数の確保とあわせ、今後JR西日本に要望していきたい。

### 他の質問項目

- ・市長が創設した危機管理幹、各プロジェクトチームの現状について
- ・市民の健康と長寿社会をめざす取り組みについて

## 越前たけふ駅前開発の進捗は

**問** 先端研究施設の誘致に向けた今後の進め方は。また、事業実施計画書の作成主体とその内容とは。

**答** 立地場所の選定にあたって、企業側の操業時期に合わせた用地確保のポイントであるので、各関係者らと協議しながら用地交渉に入りたい。事業実施計画書作成業務は随意契約による業務委託を予定しており、委託先は戸田建設を考えている。業務内容は、土地の現況調査業務、企業情報作成業務、立地想定エリア検討業務を想定している。

### 他の質問項目

- ・消雪施設の整備について
- ・空家対策について

## 市総合計画改定の方針を示せ

**問** 総合計画作成は、職員や市民にとつて、これからの市政の在り方を考える良い機会だが、生かし方をどう考えるか。

**答** 作成にあたっては、アンケートやワークショップなど、市民との交流を通して意見を取り入れ、その中で市民の方々に行政との関わりを再考してもらおう機会としたい。また、職員については、市民の意見を基に計画を自らの手でつくりあげていくことで、スキルアップにもつなげていきたいと考えている。

### 他の質問項目

- ・道の駅「越前たけふ」の活用について
- ・市民利用施設における課題

## 市総合計画のありようを示せ

**問** これまでの計画についての総括は行われたのか。また、市がおかれている社会、経済状況をしっかりとらえて改定していくべきだが、総合計画他54件の各種計画をこの機会にスリム化する考えはないか。

**答** 毎年の総合計画等達成度評価委員会による外部評価を基に、一定の成果があったと考えている。市民、有識者、議会の意見を取り入れ、各種計画のスリム化についても検討していきたい。

### 他の質問項目

- ・市総合戦略について
- ・人材育成について



未馬会  
橋本 弥登志



会派  
清水 創至  
一徳



市民ネットワーク  
小玉 俊一



未馬会  
近藤 光広

# まちづくり

# 住宅

# 農政

# 産業

## 本市の産業支援について市長の考えを示せ

**問** 自主財源である市税確保の観点から、伸び行く産業都市「越前市」の産業を今後もしっかり支援してほしいが、市長の考えは。

**答** 本市は、先端技術産業から伝統産業まで幅広い産業構造で、北陸第2位の産業都市でもあり、安定した税収がさまざまな行政サービスを支えている。越前たけふ駅周辺のポテンシャルを生かし、企業と人が集う場所を作りあげ、持続可能な産業基盤を市民生活に結び付けていきたい。

### 他の質問項目

- ・新型コロナウイルスの影響について

## 農家の厳しい現実に対応せよ

**問** 農家の収入実態についてどのように把握しているか。また、その克服に向けた対策は。

**答** 新型コロナウイルスの影響により、21年産コシヒカリ1等米1俵の内金は、昨年比最大3千円の大幅な減額となり、ハナエチゼンや他の銘柄も減額となっている。本市としては、全国的な米価下落について、国策として持続的対応が必要であると考えており、県と連携しながら、国へ要望していきたい。

### 他の質問項目

- ・学校給食無償化の現状と課題
- ・市民や子どもたちに対して、食の安全面について啓発を

## 市営住宅の入居資格を見直せ

**問** 市営住宅への単身入居資格は、満60歳以上であること、障害者手帳を持つこと、生活保護受給者であること、のいずれかとなっている。今後、ますます一人暮らしの生活困窮者が増えてくるが、一人暮らしの入居要件の見直しを。

**答** 一人暮らしの入居に関する問い合わせもあることから、今後、全国の事例を参考にしながら、入居資格の在り方について研究していきたい。

### 他の質問項目

- ・ケアリバー支援について
- ・寺社仏閣の保存に向けた支援について

## 狭隘道路や空地の整備促進への市の方針とは

**問** 市内の狭隘道路周辺は緊急車両も通れない状況にあり、他自治体では、セットバック費用への支援にかかる取り組み事例もある。ウォークアブルなまちづくりのために空地管理なども大事なことだが、狭隘道路に對する市の考えは。

**答** 狭隘道路の安全確保とまちなかの景観を良くすることは、まちづくりに重要なことである。一方で、歴史的な道は一つの財産でもあることから、安全性や利便性とのバランスを図っていくことが大事だと考える。

### 他の質問項目

- ・湯楽里の運営状況と民間譲渡について



会派  
小形 創至  
善信



会派  
題佛 創至  
臣一



日本共産党議員団  
加藤 吉則



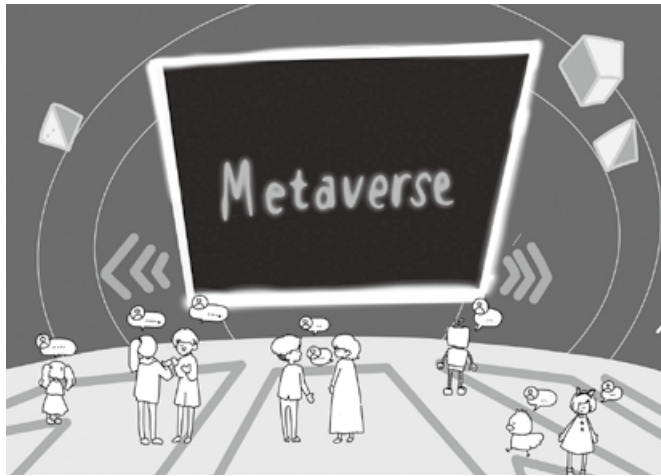
市民ネットワーク  
砂田 竜一

# 常任委員会委員長報告から

3月4日、7、10日に各常任委員会、14、15日に各特別委員会を開催し、提出された議案について審査を行いました。本会議最終日に行われた委員長報告から、令和4年度一般会計予算の審査結果報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム  検索



メタバースのイメージ

## 総務委員会

### 地域ブランディング事業とは

**問** これまでの仮想空間(メタバース)を活用した情報発信の効果は。

**答** 丹南広域組合において、丹南地域の魅力発信のために仮想空間を活用した事例では、SNSでの反響が大きく、全国への情報伝達度の高さを実感できた。インターネットは時間や空間を越えられるものであり、プロモーションや話題性を高めれば、効果は大きいものと考えている。

### 特急・新幹線対策事業について

**問** 並行在来線新駅の駅前広場を設計する前に、地元住民や学生へのヒアリングやアンケートは実施しないのか。

**答** 令和3年度に、武生商工高校や地元南地区自治振興会から要望書をもらって

おり、要望内容に基づいて進めていく予定である。地元住民や学生からの意見については、設計がある程度形になった段階で説明を行い、その中で意見を聞く機会を十分に取っていききたい。

**問** 新駅に駐車場を整備する予定はあるか。

**答** すでに駐車場が十分整備されている武生駅や王子保駅との兼ね合いや、地元の意見を聞き、費用対効果の点も考慮しながら判断していきたい。

### 市総合計画改定について

**問** 市総合計画策定支援業務委託の委託先はどこを想定しているのか。また、業務の内容は。

**答** 委託先はまだ決定していない。業務の内容としては、市総合計画審議会に提出する資料や議事録の調製、学生や子育て世帯向けのワークショップの運営支援、市民アンケートの分析等を委託する予定である。

**問** 市長選では、予算に対して厳しく意見されていたが、抑えるべきところはあるのか。

**答** 令和4年度に1年かけて総合計画を改定していく中で、市長の考えを打ち出していくものと考えている。令和4年9月議会には、中期財政計画の見直しを示し、財政見直しと、財政調整基金や将来負担などの考え方を整理したうえで、議会の意見をいたたきながら進めていきたい。

### 他の報告事項

- 職員人件費について
- 職員研修事業について

## 教育厚生委員会

### マイナンバーカードの交付促進とその影響

**問** マイナンバーカードの取り組みは。

**答** マイナンバーカード取得を希望する市民に対しては、引き続き申請サポートや国が行うマイナポイント事業の設定支援を行うことで、交付の促進を図っていく。

**問** マイナンバーカードの普及により利便性が高まることで、窓口サービスが縮小されることはないのか。

**答** 窓口でのサービスの縮小は考えておらず、今後も従来通りのサービスを提供していく。



現在のマイナンバーカード交付窓口

### 新型コロナウイルスワクチン接種について

**問** 5歳から11歳までの子どものワクチン接種の予約状況は。

**答** 対象者の1割にあたる400人程度が予約している状況である。小児科医の意見も踏まえたうえで、早期接種のメリットを伝えていきたい。

**問** 今からでも1回目の接種を受けることは可能か。

**答** 集団接種および一部の医療機関で初回からの接種を受け付けている。初回接種が可能な医療機関については、市のホームページに掲載しているため、確認のうえ問い合わせていただきたい。

### 就学援助制度の対応と周知

**問** 内閣府の調査では、就学援助制度の支援が必要とする方に行き届いていないとのことだが、本市の対応と周知は。

**答** 家庭環境に変化があった時点でその都度申請を受け、認定している。周知については、学校からのお便りなど、さまざまな機会を通じて周知に努めている。

**問** 国が就学援助の入学準備金の補助単価を引き上げたが、市でも引き上げるのか。

**答** 国の補助単価に合わせて、市でも引き上げを行う。

### 水泳学習委託について

**問** 令和4年度は6校が武生中央公園温水プールで授業を実施することだが、今後実施する学校を増やす計画はあるのか。

**答** 令和4年度の実績を確認したうえで、委託業者と協議して進めていきたい。

**問** 温水プールでの水泳授業実施の基本方針はあるのか。

**答** 授業については学習指導要領に基づいて実施しているが、活動の場としては、各プールの老朽化状況をふまえ、今後整理していきたい。

**問** 温水プールの利点を生かして、通年で授業を行うことはできないか。

**答** 学習指導要領に基づき、これまで通り夏季を中心に実施していきたい。

### 他の報告事項

- 地域子育て支援センター委託料について
- 花筐公民館の移設について

## 産業建設委員会

### 鳥獣害対策を現状に応じたものに

**問** 戸数の少ない集落では、高齢化も進み、電気柵やワイヤーメッシュ柵を設置しようにも維持・管理ができない現状がある。今後の進め方、考え方は。

**答** 市としては、補助にかかると集落ごとの特性にあわせて緩和できるような設置を通じて国に求めるとともに、人を雇って設置する方法が認められるよう働きかけていく。

### 新幹線駅周辺の意向調査について

**問** 地元地権者の土地利用意向調査結果は。

**答** 現段階で売却に前向きな回答が6割、条件次第との回答が3割、営業を続けたい等の回答が1割程度であり、この結果は地元にも報告している。

### 除雪オペレーター育成支援補助金について

**問** この補助金は継続的に行われるのか。

**答** オペレーターの高齢化問題や担い手不足に対応するため、継続的に実施し、安定的な除雪体制の確保に努めたい。



除雪の様子

### 他の報告事項

- 都市計画マスタープランの策定について

# 特別委員会 委員長報告

## 議会活性化特別委員会

### 「越前市議会の議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例」および「議員報酬と定数に関する考え方」について協議

1月12日、2月7日および3月15日の計3回開催し、1月の委員会では、12月の委員会に引き続き、「越前市議会の議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例」について、先進事例を参考に、条例に盛り込む具体的な内容などについて、本市の状況を確認しながら検討を行い、条例の素案内容を協議した。

また、議員報酬と定数に関する考え方についても全議員で意見討論すべく資料を作成し、今後のスケジュールについて、協議を行ったうえで、長期欠席議員の報酬の特例条例と合わせて2月16日の議員協議会で議員間討議を行った。

これら議員間協議での意見を受け、3月15日の委員会では、「越前市議会の議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例」を議員改選前の令和4年6月定例会にて、議員提案で上程することを確認した。

また、越前市議会の議員報酬と定数については、現議員の任期内に方向性を決定し、改選後の新体制に引き継ぐため、4月に開催された議会モニターとの意見交換会において、徴収した意見を受け、最終結論を取りまとめることとした。

## 公共交通対策特別委員会

### 公共交通概論およびオンデマンド交通の研究のために、オンラインによる講義を受講

3月14日に委員会を開催し、公共交通概論およびオンデマンド交通の研究のため、有識者の方々からオンライン講義を受けた。

まず、公共交通の意義・役割は、運転免許を持たない学生や高齢者、障害者など、誰もが自由に移動することを可能とし、移動を支えることで生活を支え、将来にわたって安心して住み続けられる地域をつくるものであること。また、公共交通に対する補助金は赤字補填と言われることがあるが、移動を支えることで地域の活動を支える役割を担っており、地域を「黒字」にするためのインフラとして必要な費用である、との意見を聞いた。

近年導入が進んでいるオンデマンド交通については、予約運行による経費削減や利便性向上など、メリットのみが目されるが、オンデマンド交通が有利な範囲は狭く、輸送効率が悪い、利用回数が増える、路線バスよりも運行経費が上がるなどのデメリットがあることから、導入を検討する際には、地域の特性や利用者の流れなどを詳細に調査し、慎重に取り組む必要があることを理解することができた。そしてエリアや利用者が限定的な場合は、タクシーを活用した対応策の方が適しており、またオンデマンド交通を選択する場合は、曜日や時間、運行エリアなどを限定したり、乗り合う人数によって割引を適用するなど、需要を集約する工夫が必要とのことだった。

これらの説明の後、各委員からは、バスやタクシーの運転手・車両の確保についての取り組みや、タクシーを活用した対応策としての「会員制タクシー」の事例についてなどの質問がなされた。

講師から、本市の公共交通に関し、今後2つの鉄道となる並行在来線と福井鉄道福武線を幹線としてどう位置付けて生かしていくかをしっかり考えていく必要がある、また路線バスについては、利用者が減少し幹線が弱くなっていることから、この幹線をどう守っていくかネットワークをしっかりと構成した上で、考えていかなければならない、との意見があった。

## 視察報告

### 教育厚生委員会

1月27日(木)

#### 東京都あきる野市

ICTを活用した高齢者見守り事業  
秋川流域 病児・病後児保育室  
教育厚生委員会では、東京都あきる野市にオンライン視察を行った。

「ICT(情報通信技術)を活用した高齢者見守り事業」については、家屋の電球を通信機能付きLED電球に交換し、24時間点灯や消灯が確認できなかった場合に、民間受信センターに自動通報を行い、本人や親族などに連絡を取る仕組みである。これにより定期的な連絡を必要とする見守り事業の人手不足解消や見守られる側の負担軽減を図っており、一人暮らしの不安が軽減されたなどの声を聞いている。しかし、24時間連続の点灯または消灯を受けての通報となるため、通報までの時間短縮など、体制の見直しが必要であるとのことだった。

次に「秋川流域 病児・病後児保育室」については、医療センターの敷地内に病児・病後児保育室を設置し、病中や病気の回復期にある子どもを預かる事業を行っている。この事業はあきる野市を含む3市町村による広域利用事業で、公立病院内の施設を広域利用するのは、東京都内で初の取り組みであり、保育士2名、看護師1名が常駐し、毎日小児科医が巡回を行っているとのことだった。

今回の視察を通して、一人暮らしの高齢者、その親族が安心して生活を送れること、また、就労しながら安心して子育てができる環境の整備は全国共通の課題であり、ICTの活用も含め、安心して暮らせる社会の実現を目指していかなければならないと感じた。

## 議会モニター 1年を終えて

令和3年度の議会モニター会議では、各定例会ごとの会議に加え、常任委員会との意見交換を行いました。1年を通して、議会モニターの皆さんからいただいた意見の一部を紹介いたします。

### 本会議・委員会の傍聴

議会や委員会でもっと議員は追及していく必要があるのではないかと。

委員会の傍聴ができることを知らない市民が多いのではないか。もっとPRすべき。

どのような議案が論点となっているかをもっと広報していくと興味を持つ人も増えるのではないかと。

### 議員との意見交換

各常任委員会での課題についてもモニター会議で意見交換できるとよい。

直接議員との意見交換ができることは、とてもよいと思う。

### モニター制度

DXを推進している中で、モニター制度にもDXを取り入れれば、もっと多くの人が参加できるのではないかと。

### その他

議会だよりのQRコードをもう少し大きくすれば、スマホを持っている人も興味を持つのではないかと。

小学生の議場視察は、議会理解の第一歩として有効であるから、小学校6年間のうちで1回は議場に來れるようにすることで、議会への意識が高まると思う。

モニターになって、議員が一生懸命勉強していることを知ったが、市民には届きにくいので、議員の活動の見え方が必要だと思う。

### モニター制度とは?

議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるように議会運営に対する要望やご意見をいただくために平成28年に導入されました。



議員との意見交換会

### 議会モニターの皆さん

- 芦田 盛 治(越前市いきいきシニアクラブ 連合会推薦)
- 加藤 のぶ子(公募)
- 佐々木 晴 美(公募)
- 土本 俊 三(越前たけふ農業協同組合推薦)
- 永田 拓 也(武生青年会議所推薦)
- 中野 博 美(越前市女性会推薦)
- 仲保 則 子(公募)
- 福島 宏(越前市自治連合会推薦)
- 藤井 武 宏(越前市商工会推薦)
- 前田 武 彦(武生商工会議所推薦)
- 山田 佐智生(連合福井丹南地域協議会推薦)
- 山本 與志彦(越前市社会福祉協議会推薦)
- 鷺田 文 枝(武生商工会議所推薦)

議会モニターの皆さん、1年間ご協力ありがとうございました。

議会改革

議会活性化の取り組みを振り返って

Parliamentary reform

市総合計画基本構想を  
議決対象に

本市議会は、さらなる議会改革を進めるため、令和2年3月に議会活性化特別委員会を設置しました。

同委員会は、まず地方議会運営基本原則を定めた「越前市議会基本条例」の見直しに取り組みました。特に大きな焦点となったのは、市総合計画の基本構想を議決対象とするべきかどうかという点でした。

総合計画の基本構想は市の進むべき道を導く重要なものです。その時の市長の思いや考えで変わるべきものではなく、議会での議決を経るべきではないかとの意見もあり、議論を重ねた結果、令和3年6月定例会において同条例を改正し、基本構想の策定等を議決対象とすることとしました。

今後、市は令和5年度を始期とする総合計画の改定を行います。

本議会は、総合計画の改定にあたり、長期的展望を示す基本構想に対し、市民の意見が十分に反映されたものとなっているかなどについて、しっかりと議論していきます。



議員協議会での協議

県内初のオンライン  
委員会を開催



委員会にオンラインで参加可能に

令和2年4月の総務省の通知により、オンラインによる委員会の開催は差し支えないとされたことを受け、「有事の際の議会の開催方法」について議論を重ね、令和3年6月定例会で委員会条例および会議規則を改正し、オンラインによる委員会開催が可能となりました。

令和3年9月14日に開催した総務委員会では、委員の1人が自宅からオンラインで出席しました。これは、県内初であるだけでなく、全国的にも極めて先進的な取り組みでした。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、他自治体などへの視察等が困難になり、オンラインによる視察に切り替えました。これにより、議員活動を縮小することなく継続することができました。

「議員の定数と報酬」  
深まる議論

地方議会では、若者の顕著な政治離れや投票率の低下、議員のなり手不足、進まない議会での男女共同参画など、直面する課題は複雑化・多様化しています。

当市議会においても、改革を模索しながら様々なことに取り組みできましたが、議員の定数と報酬についても議論を始めました。

全国の市議会の現況を検証しながら、市民の意見を漏れなく拾い上げることのできる議会を維持するため、必要な議員定数について、議論を重ねてきました。令和4年1月には、法政大学法学部教授の土山希美枝氏を講師にお招きして「議員の定数・報酬の本質を考える」をテーマに研修会を開催しました。研修会後も議員の定数と報酬についての議論を継続しています。

また、議員報酬等の協議をする中で、長期欠席に伴う議員報酬の減額・停止については、検討すべき事項としてあがってきました。諸事情により議事を長期的に欠席した議員の報酬および手当について、減額することができるとの特例規定を定めようとするものであり、令和4年6月定例会での条例制定を目指しています。

今後も議会の活性化に向け様々な議題に取り組みとともに、議員の報酬と定数について研修会や市民との意見交換等を通して、議論を深めていきます。



6月定例会日程(予定)

月 日	時 間	会 議 名	丹南ケーブルテレビ 再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
5月20日(金)	午前10時	本会議(提案理由説明)	5月23日(月) 午後6時
24日(火)	午前10時	本会議(質疑)	5月25日(水) 午後6時
27日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	6月6日(月) 午後6時
30日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	6月7日(火) 午後6時
6月3日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	6月8日(水) 午後6時
6日(月)	午前10時	本会議(一般質問 予備日)	6月9日(木) 午後6時
7日(火)	午前10時	教育厚生委員会	
8日(水)	午前10時	産業建設委員会	
9日(木)	午前10時	総務委員会	
14日(火)	午後1時	議会運営委員会	
16日(木)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)	6月17日(金) 午後6時

本会議や  
委員会の  
傍聴ができます

傍聴をご希望の方は、市役所西棟3階の議場傍聴席入口横の受付(委員会傍聴の場合は各委員会室入口)までお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、間隔をあけて着席いただいております。

- ◆お父さま連れや車いすでも傍聴いただけます。
- ◆手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の10日前までに、議会事務局まで申請をお願いします。
- ◆本会議は、丹南ケーブルテレビや、インターネット、スマートフォンでもご覧いただけます。

